

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

群馬県

行事名称	第70回文化財防火デーに伴う消防訓練
実施期間・日時	令和6年1月25日（木曜日）午後2時～3時
実施場所	クラシエ株式会社 新町工場（高崎市新町2330番地）
主催者	クラシエ株式会社、高崎東消防署及び新町分署、高崎市教育部文化財保護課

■実施内容

訓練の想定

午後2時ごろ、クラシエ株式会社新町工場の機械室から出火した想定とする。

訓練の内容

119番通報を受け、高崎東消防署及び新町分署、高崎消防団新町方面隊が出動して消火活動を行う。クラシエ株式会社新町工場従業員および関係者の避難誘導訓練を実施。自衛消防隊による初期消火訓練、消防隊による連携消火訓練（放水）を行う。

参加者及び役割分担

クラシエ株式会社新町工場	（21名）：119番通報、初期消火、避難誘導、講評
高崎東消防署	（6名）：全体統括、連携消火指揮、講評
高崎東消防署新町分署	（6名）：連携消火訓練（ポンプ車）
新町方面隊	（9名）：連携消火訓練（ポンプ車）、講評
女性防火クラブ新町方面	（1名）：現場立会い、記録
高崎市文化財保護課	（3名）：現場立会い、記録
高崎市新町支所地域振興課	（2名）：現場立会い、記録

特に工夫した点

- ・防災管理者を中心に自衛消防隊における「火災の初期の段階における消火活動」「消防機関への通報」「従業員が避難する際の誘導」など、災害時の自衛消防活動の再点検に努めた。
- ・社内において、「文化財防火デー」を機会に文化財愛護に関する意識の高揚を図り、火災、震災その他の災害から文化財を守るため、広報活動を行った。

問題点・課題

- ・火災時に、自衛消防隊を担う組織の従業員が会社に不在という事態も生じてくる。組織以外の各部署に初期消火班、通報連絡班等を割り当てておき、火災・災害が発生した際は、そのときに出社している部署のメンバーが割り当てられた役割を担うという体制の確立が課題である。
- ・文化財を災害から守るためには、関係機関や文化財所有者だけではなく周辺地域住民との連携、協力が必要であることから、地域の連携体制の構築・強化が必要である。

その他

訓練風景

別紙



放水訓練



放水訓練